

2022年4月1日

報道関係各位

Bike Life Lab supported by バイク王

Bike Life Lab supported by バイク王 『リセール・プライス』ランキングを発表 『ホンダ・GB350 S』が首位獲得！

対象期間 2021年12月～2022年2月

バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信することを目的に活動を行う『Bike Life Lab supported by バイク王』(所在地: 東京都港区、運営: 株式会社バイク王&カンパニー)は、2021年12月～2022年2月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。40回目となる今回は「ホンダ・GB350 S」が首位に輝きました。

◇『ホンダ・GB350 S』が 首位獲得！



◇上位5台がホンダ独占！

◇第25回以来の軽二輪ランクインなし

◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくはURL (<https://www.8190.jp/bikelifelab/movie/shijou/>) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「Bike Life Lab 調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・Bike Life Lab supported by バイク王(<https://www.8190.jp/bikelifelab/news/resale-ranking/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

Bike Life Lab (バイクライフラボ)

担当: 西方、赤松

T E L 03-6803-8855

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当: 高島、仲田

T E L 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・GB350 S	127.0 Pt
2	ホンダ・GB350	121.1 Pt
3	ホンダ・CB400 SUPER FOUR	115.5 Pt
4	ホンダ・CB1100RS	104.8 Pt
5	New ホンダ・レブル 1100	103.2 Pt
6	カワサキ・Z900RS	103.1 Pt
7	ホンダ・クロスカブ 110	102.7 Pt
8	ホンダ・レブル 1100 DCT	100.4 Pt
9	ホンダ・CT125 ハンターカブ	94.9 Pt
10	カワサキ・Z900RS CAFE	94.8 Pt

◇対象期間 2021年12月～2022年2月

第40回となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・GB350 S』が2位に5.9Pt差を付け首位に輝きました。

1位にランクインしたホンダ・GB350 Sは前回、スタンダードモデルであるGB350と同じく初登場し2位にランクインしましたが、今回はそのスタンダードモデルを抑えて1位となりました。タックロール風シート、専用サイドカバー、フォークブーツ装着、マフラー、ショートフェンダーなどスタンダードモデルとは外観や乗り味など異なる部分があり楽しめる車両です。今回の対象期間ではBike Life Lab独自の規定台数に達したこと、上質な車両が流通していることによりランクインしたものと推察されます。

また今回初めてホンダ・レブル 1100が初登場5位記録致しました。2020年に発売した同モデルはオートマチック運転も可能なDCT(デュアルクラッチトランスミッション)もラインナップし、日本では大型二輪AT限定免許でも運転できる車両です。発売から年月が経っているものの人気は衰えず車両も高値で取引されている為、今回ランクインしたのと考えております。

各メーカーよりさらなる新型モデルが発表されるなか、今後のランキングに変化は起こるのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・クロスカブ 110	102.6 Pt
2	ホンダ・CT125 ハンターカブ	94.8 Pt
3	ホンダ・モンキー125	92.6 Pt
4	ホンダ・スーパーカブ 110	88.0 Pt
5	ホンダ・GROM	87.8 Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・レブル 250	93.3 Pt
2	ホンダ・CRF250L	83.9 Pt
3	カワサキ・Ninja ZX-25R/Ninja ZX-25R SE	83.8 Pt
4	カワサキ・Ninja 250	83.2 Pt
5	ホンダ・PCX160	83.1 Pt

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・GB350 S	127.0 Pt
2	ホンダ・GB350	121.1 Pt
3	ホンダ・CB400 SUPER FOUR	115.5 Pt
4	カワサキ・Ninja 400	82.5 Pt
5	カワサキ・Z400	81.0 Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CB1100RS	104.7 Pt
2	New ホンダ・レブル 1100	103.2 Pt
3	カワサキ・Z900RS	103.1 Pt
4	ホンダ・レブル 1100 DCT	100.3 Pt
5	カワサキ・Z900RS CAFE	94.8 Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2022年4月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、200万台以上の累計取扱台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Lab が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2022年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2022年4月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・ モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・ 期間内に、Bike Life Lab 独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

【Bike Life Lab supported by バイク王について】

バイク王 バイクライフ研究所は、コーポレートミッションとして「まだ世界にない、感動をつくる。」を掲げ、ビジョンである「バイクライフの生涯パートナー」の実現を目指している株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織であり、2017年3月からは「Bike Life Lab (バイクライフラボ)」というバイクコンテンツサイトを運営しております。

2019年2月より、ライダーにとってより身近で、より強固なエンゲージメントを持った情報発信組織に成長していくために、「バイク王 バイクライフ研究所」を「Bike Life Lab supported by バイク王」に名称変更し、併せてバイクコンテンツサイト名も「Bike Life Lab supported by バイク王」に統合しました。

Bike Life Lab supported by バイク王は、バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信していくことで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

Enjoy Life with Bike

バイクがあれば もっと楽しい

Bike Life Lab
supported by **BIKE 王**